

1. 研究の名称

急性期病院に入院する患者のナースコール呼出状況と睡眠・休息状況の分析：

安全・安心な看護提供にむけて

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

研究責任者：

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻・講師・大滝千文

共同研究機関

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科・准教授・和泉慎太郎

4. 研究の目的・意義

急性期病院に入院している患者のナースコール呼出状況と睡眠状況を測定し、夜間睡眠とナースコール呼び出しの関連実態を明らかにすることを目的とします。

本研究結果により、夜間の患者からのナースコール呼び出し前の看護提供への基礎的データ構築を目指します。ナースコールは患者の安全確保に不可欠ですが、先行研究では応答時間の遅延が患者の不安を高め、転倒、治療結果や満足度に悪影響を及ぼすことが指摘されています。しかし、夜間の患者の睡眠状況とナースコール呼出状況に関する研究は行われていません。睡眠状況とナースコール呼び出しの関連が明らかになれば、夜間のナースコール呼び出し前の看護の提供につながると考えられます。

5. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日から 2027 年 3 月 31 日

6. 対象となる試料・情報の取得期間

1) セッティング

2025 年 9 月 1 日～2025 年 9 月 30 日の期間において、京都大学医学部附属病院の内科病棟（血液内科病棟）に入院していた患者および病棟に勤務していた看護師

2) 適格基準

【患者】

・ 選択基準

20 歳以上を対象とする

【設定根拠】倫理的な配慮のため設定した。

・ 除外基準

なし

【看護師】

・ 選択基準

対象病棟（血液内科病棟）に勤務していた看護師

・ 除外基準

なし

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

患者睡眠状況と病室患者からのナースコールに対応する時間（応答までの時間、看護師ベッドサイド到着時間）の関連を検討します。病棟で取得されている、看護師ベッドサイド到着時間と、病室患者からのナースコール時間、患者睡眠状況を分析対象とします。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

対象期間に、京都大学医学部附属病院の内科病棟（血液内科病棟）に入院していた患者および病棟に勤務していた看護師に係る以下のデータを利用する。

- a. ナースコール情報：病室（ベッドサイド）から押されたナースコールの発生時刻、看護師の応答時刻（コール年月日時分秒、病室（部屋）番号、ベッド番号、コール種別、応答秒）
- b. 看護師がナースコールがあった患者のベッドサイドに到着した時刻
- c. 患者の睡眠状況：睡眠、覚醒、離床データ
- d. 病棟の基本データ
病棟総患者数、入退院患者数、転出入数、手術・検査数、移送区分・人数、看護体制、看護師配置人数（看護師勤務数）、看護度

9. 利用または提供を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日以降に使用します。

10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

共同研究機関

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科・准教授・和泉慎太郎

11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

研究責任者：

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻・講師・大滝千文

共同研究機関

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科・准教授・和泉慎太郎

12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研
ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象か
ら削除します。

13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入
手・閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能で
す。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。

14. 研究資金・利益相反

1) 研究資金の種類および提供者

本研究は、公益財団法人 笹川保健財団の 2025 年度笹川保健財団研究助成を資金源として実施しま
す。

課題：「急性期病院に入院する患者の夜間ナースコール呼出状況と睡眠状況の分析：安全・安心な
看護提供にむけて」

2) 提供者と研究者との関係

資金提供者の研究の企画、運営、解析、論文執筆に関与の有無：無し

3) 利益相反

パラマウントベッド株式会社より、測定装置“眠り SCAN”が無償で貸与されます。同社との利益相
反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨
床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

15. 研究対象者等からの相談への対応

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻看護科学コース 周産期疫学分野

講師 大滝千文

(Tel) 075-751-3916 (E-mail) otaki.chifumi.2u@kyoto-u.ac.jp

2) 各研究機関における相談等窓口
京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

16. 外国にある者に対して 試料・情報を提供する場合
該当しない

情報公開文書の改訂記録

版数	作成（改訂）年月日
第1.0版	2025年 11月 5日